

一般質問

11月10日

知りたい！
聞きたい！



吉田芳春 議員

落石防止の安全対策を

問 島根県の県道で通行中の軽自動車に直径約1メートルの落石が直撃し、助手席に乗っていた県内の女子学生が死亡する事故があった。今回の崩落現場には、防御用ネットの金網もモルタルの吹き付けもされていないのか。

本町の国道437号線の長浦地区に「落石注意」と表示した



国道長浦地区に落石注意の看板

国道長浦地区に落石注意の看板が数年前から設置されている。「落石注意」の立て看板の標識だけで落石防止の安全対策は十分確保されているのか。

答 平成25年6月の落石時、道路利用者への落石に対する注意喚起のために設置した。現在は道路法面に浮石等は確認できておらず、安全は確保されている。

中学校統合の方向性は

問 今から約9年前、小中学校統合問題推進協議会は、それまでの保護者説明会32回、統合問題懇談会16回、そして議会全員協議会等への説明後、平成19年4月9日に、中学校統合の在り方について慎重審議を行った結果、平成29年4月に1校への統合を目指す、社会情勢の変



地区別懇談会

化や保護者・地域の声に配慮しながら進めるよう教育委員会へ答申を行っている。今現在どのような認識されているか。

答 当時の住民代表、学校関係者及び議会が参加した議論を踏まえた上で、推進協議会が出された答申であり、現在の教育委員会としても大変尊重すべきである。

を対象にアンケート調査や地区住民を対象とした地区別懇談会を開き意見集約に努めている。次第に議論が活発化している。

問 郡内の全4中学校の生徒が約250人足らずになった現状を直視し、教育委員会として中学校を統合するのかもしれないか、統合するのであればどの中学校にいつから統合するのかを早く結論を急ぐべきである。

答 11月に各学校運営協議会から出される意向調査票について、12月以降に新教育長が、改選後の町長により、同じく改選後の議会の同意を得て、教育長が教育委員長を兼ねる新制度に基づく教育委員会において協議する。

問 統合賛成系の意見を踏まえて統合校舎を久賀中学校となっているが、他の中学校の統合校舎になった場合、今から2年前の平成26年に約7億8千万円で新校舎を改築した久賀中学校の校舎をどのように活用されるのか。

答 仮にそのような方針となった場合、他の廃校校舎と同様に地元住民の意見を聞き、跡地利用について検討する。